



金属の生命^{いのち}が覚醒する。

東北大学大学院文学研究科・東北大学埋蔵文化財調査室・村田町教育委員会 共催
東北大学大学院文学研究科先端研究拠点「物質文化史研究プロジェクト」企画展

青銅器誕生 の ダイナミズム

- 大草原から東アジアへ -

村田町歴史みらい館 10月10日(土)~12月13日(日)

関連事業「歴史講座」(講演会&ギャラリートーク)

日時:11月14日(土) 午後1時30分~3時

場所:村田町歴史みらい館2階研修室

講師:東北大学 松本圭太准教授

申込先:村田町歴史みらい館 電話0224-83-6822



TOHOKU
UNIVERSITY



MURATA
TOWN

金属の生命が響きあう歴史のダイナミズム

人類が金属を手にした時代、ユーラシア大陸の東方では全く異なる二つの青銅器文化が息づいていました。モンゴルやシベリアの草原を駆け巡る牧畜民たちが生み出した、野生動物のダイナミズムを宿すアニマル・スタイル。そして、黄河流域の定住農耕社会が築き上げた、武器や祭祀のための器。それぞれの地で独自の発展を遂げた二つの青銅器文化は、やがて交差し、東アジア全体を巻き込む巨大な技術革新の波となりました。

本展は東アジア青銅器文化研究所より東北大学大学院文学研究科考古学研究室へ寄託頂いたコレクションによって、大草原から東アジアへと続く青銅の波動と、そこに宿る古代人の美意識の覚醒を解き明かす学術展示です。



表：動物形装飾品（内蒙古・長城地帯 前5-前4世紀） 裏：戈（華北平原 前2千年紀後半）

村田町歴史みらい館

〒989-1305

宮城県柴田郡村田町大字村田字迫85

TEL 0224(83)6822 / FAX 0224(83)6844

E-mail: miraikan@town.murata.miyagi.jp

●開館時間 午前9時～午後5時

●観覧料 無料

●休館日 月曜日、祝日の翌日

【アクセス】

自動車 東北自動車道村田ICより車で1分

バス

◎仙台駅から

仙台駅前33番乗り場 ミヤコー高速バス

村田・遠刈田行き「村田町役場前」下車、徒歩5分

◎大河原駅から

JR 東北本線「大河原駅」前乗り場 ミヤコーバス

村田・川崎行き「村田中央」下車、徒歩10分



※本企画展は科学研究費助成事業・基盤研究(C)24K04352「前1千年紀のユーラシア東部における青銅器生産の復元に関する研究」および東北大学国際卓越研究大学助成金による研究成果です